

安心してボランティア活動や地域福祉活動を進めるために  
福祉行事保険のご紹介



福祉行事保険とは？

- ・福祉に関する行事にかかる傷害補償、賠償責任補償がセットになった保険です。(賠償責任補償は主催者が賠償責任を負った場合のみ)
- ・行事前日までの申し込み完了で保険が有効になります。
- ・行事の主催団体で社会福祉協議会や加入要件を満たしたボランティア・市民活動団体が加入資格者になります。
- ・対象は加入資格者が主催する非営利の公益的な行事で、自治会、子供会などでも加入できます。  
(加入資格者についての詳細はパンフレットで確認してください)
- ・行事内容(種別・宿泊日数等)で掛金が変わりますが補償内容は一律です。  
Aプランは日帰り型(行事の危険度により掛金が変わります)、Bプランは宿泊型です。



○「福祉行事保険」の内容○

プラン・保険料について						
プラン	A-1	A-2	A-3	B-1 (1泊2日)	B-2 (2泊3日)	B-3 (3泊4日)
保険料/1名	30円	137円	269円	238円	291円	299円
プラン			B-4 (4泊5日)	B-5 (5泊6日)	B-6 (6泊7日)	B-7 (7泊8日)
保険料/1名			355円	363円	371円	506円

ちよい♡サポ利用会員・協力会員・サポート会員 募集中!!

利用会員:3名 協力会員:29名 サポート会員:0名 令和6年4月末時点  
ちよい♡サポでは、有償ボランティアとして日常のちょっとした困りごとのお手伝いをしています。  
あなたも「ちよい♡サポ」の利用・協力してみませんか? 詳しくは下記お問い合わせ先へお電話ください。

〈お問い合わせ先〉

城陽市社会福祉協議会【担当:若本】(住所:京都府城陽市寺田東ノロ17)  
電話:0774-56-0909 FAX:0774-56-2800  
E-mail: [wakamoto@jyoshakyo.or.jp](mailto:wakamoto@jyoshakyo.or.jp)



# 令和6年6月号発行 ボランティアだより

—発行— 社会福祉法人  
城陽市社会福祉協議会  
京都府城陽市寺田東ノロ17  
TEL (0774) 56-0909  
FAX (0774) 56-2800



## 城陽市災害ボランティアセンター推進協議会研修会・訓練を開催しました。



令和6年3月2日(土)、城陽市で大規模災害が発生した場合に災害ボランティアセンターの拠点となる木津川運動公園にて、城陽市災害ボランティア推進協議会研修会及び訓練を開催しました。

研修会では、城陽市危機・防災対策課 大田氏より「地震発生後の市の災害応急活動について」と、京都府災害ボランティアセンター 北尾氏より「近年の災害ボランティアセンターについて」をご講義いただきました。

研修後は、実際に災害が起きた想定で、災害ボランティアセンタースタッフ役、ボランティア役、被災者役に分かれ、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施。訓練を行う中で出た課題などを共有し、最後に城陽市危機管理監 下岡氏、京都府災害ボランティアセンター 北尾氏より講評をいただきました。

実際に訓練を行うことで「ボランティアの運営の実態を体験できて良かった」「防災(災害)ボランティアのあり方についてよく分かった」との意見をいただきました。平常時の備えや訓練の必要性を改めて実感しました。



—当日の様子—



## 令和5年度ボランティアフェスティバル in 城陽



令和6年2月18日(日)に「令和5年度ボランティアフェスティバル in 城陽」が市立福祉センターで開催されました。4年ぶりの参集型での開催となり、各ボランティア団体の特色が表れた紹介パネルや発表がありました。

福祉ボランティア活動の市民への周知や加入者募集、他団体との交流を目的としており、当日は153名の方に参加いただきました。参加された方からは「色々な福祉ボランティアを知る、体験する機会になり良かった」と意見をいただきました。ボランティア活動に参加される方が増えることや、福祉ボランティア活動に取り組まれる中で他団体の活動を知り交流することで、活動されるモチベーションの維持・向上につながっていくよう、取り組んでまいります。

開催にあたり協力していただいた方、当日参加していただいた方、双方のご協力があり、和気あいあいとしたボランティアフェスティバルになりました。ありがとうございました。



## 朗読ボランティア「陽声」設立40周年 記念式典

令和6年5月18日(土)に陽声設立40周年 記念式典が開催されました。

第1部 記念式典では、庄司実行委員長の式辞や城陽市奥田市長ら、来賓方の祝辞がありました。

第2部では朗読発表があり「おもろうて、やがて悲しき 追悼 遠藤周作」、「車窓家族」、「かえんだいこ」、「山桜」の朗読を聞かせていただきました。

朗読発表はとても聞き取りやすく、笑い話やほっこりする話などがあり、参加された方は大いに楽しんでおられました。また、発表終了後には朗読ボランティア「陽声」の澤江代表が謝辞を述べられました。

朗読ボランティア「陽声」では声の広報じょうよう、じょうよう市議会だよりなどの録音をしていただいております。目の不自由な方に寄り添い、誰もが情報を得られるように活動をされておられます。誰一人取り残さない社会の実現に向けて、多大な貢献をされています。

今後も、益々のご活躍をお祈りしております。



## 第46回城陽サマースクール閉校式

### 「ありがとう城陽サマースクール」

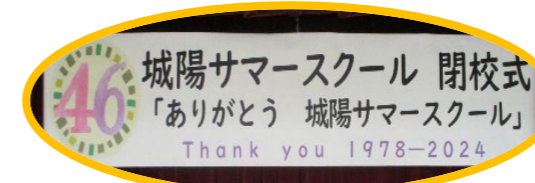
令和6年3月30日(土)に城陽サマースクールの閉校式「ありがとう城陽サマースクール」を開催いたしました。

城陽市内在住の障がいのある児童生徒を対象に長期休暇中に家に閉じこもらず学校や地域をこえた仲間づくりの場や生活リズムの保持を目的として、保護者やボランティアの手づくりで始まった城陽サマースクールですが、放課後デイサービスなど福祉制度の充実等を背景に令和5年度で46年間という長い歴史に幕をおろしました。

閉校式には、児童生徒と保護者やボランティアとして協力して下さっていた龍谷大学の学生、これまでの城陽サマースクールに関わりのある地域の方々、約60名のご出席を得て、思い出話に花を咲かせました。

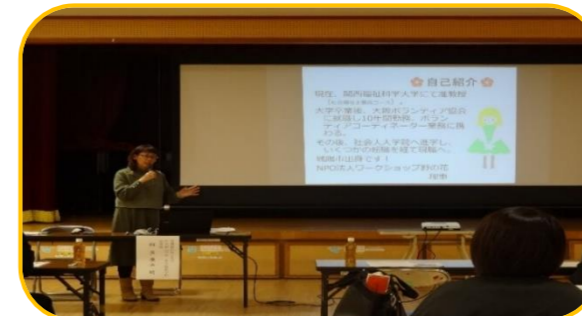
当日は保護者の方と一緒にサマースクールを立ち上げた、立命館大学産業社会学部 教授津止氏より「城陽サマースクールの歩みについて」のお話やドレミちゃんおんがくかいによる演奏。また、これまでの城陽サマースクールの歴史がわかるパネル展示を行いました。

今後は市社協が主体となって、障がい児と地域がつながる場を作っていきます。



## ボランティア入門講座

### 「誰かのために、自分のために…ボランティアやってみよう！」



令和6年3月12日(火)に、ボランティア入門講座「誰かのために、自分のために…ボランティアやってみよう！」を開催しました。

関西福祉科学大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 南 多恵子氏より、ボランティアについてやボランティア活動をするときの心構えについてご講義いただきました。また、市社協より市社協登録のボランティア団体の紹介、ちよい♡サポの説明もさせていただきました。

南氏の「困っている方と会った時に何か出来る事をしたい気持ちで活動するのがボランティア活動だ」という言葉がとても印象に残り、ボランティアとは支え・支えられ、人と人が気持ち良くつながり合えるものだと改めて認識しました。